

FD (Faculty Development) 関連事業

<事業概要>

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組として、大学コンソーシアム京都では設立間もない1995年より加盟大学と共に京都地域におけるFD活動を推進しています。また、FD活動のリーダーとなる教職員を養成するためのワークショップ形式の勉強会、まんがFDハンドブックの配布（一部販売）なども行っています。

<主な活動項目>

- ◆新任教員FD合同研修 →FD合同研修プログラム(2018年度名称変更)
- ◆京都FD執行部塾 →大学執行部塾(2018年度名称変更)
- ◆京都FDe塾 →京都FD交流会(2018年度名称変更)
- ◆FDフォーラム

※DI (Diffusion Index)値とは

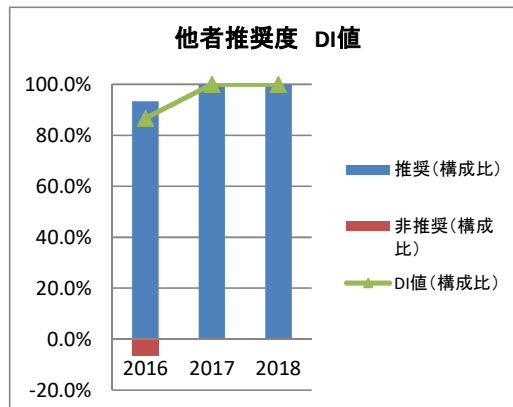
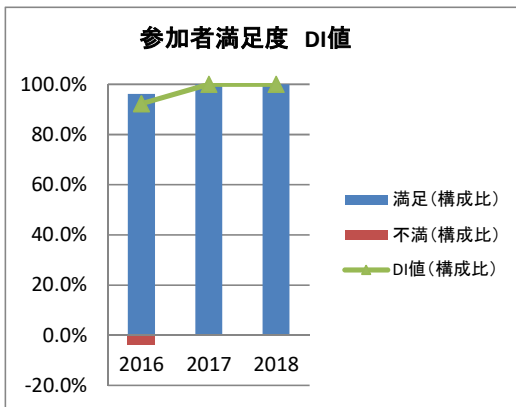
「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して、単一の値に集約する加工統計手法のこと。または、この方法によって得られた指数をいう。DIは、時系列データであれば値の増加(プラス)／減少(マイナス)、サーベイデータ(アンケートなど)であれば回答を良い／悪いなどの属性に分類し、その属性の個数を集計して全系列数に占める割合などから算出する。

<http://www.itmedia.co.jp/im/articles/0707/09/news108.html>

◆新任教員FD合同研修 →FD合同研修プログラム(2018年度名称変更)

<事業概要>

大学教員として必要な知識・スキルを身につけていただくことを目的とした、国立教育政策研究所が提唱する「新任教員のための基準枠組」を参考にした研修プログラムです。



<参加者の声>

- 他大学の先生のお話し、ご意見をうかがえてとても勉強になった
- FD研修という言葉から、単なる座学となるかと想像していたが、実際の講義などに役立てられる内容ばかりで非常に参考になった
- 教育について教わる(考える)機会がないので、本プログラムはその機会であり、非常に有意義
- 同大学の先生方でも学内では知り合う機会がないし、さらに機会の少ない他大学の先生方とも知り合うことができ、横のつながりも形成するきっかけとなった

<参加者の声を受けて改善を図った点>

- 2018年度に従来の「新任教員FD合同研修」を1.5日×2回のプログラムから計5日間のプログラムに細分化した。
- 名称を「新任教員FD合同研修」から「FD合同研修プログラム」とし、新任教員層以外の教職員が参加しやすい名称に変更した。
- 2018年度の参加者増加の結果を踏まえ、プログラムの内容を再点検し、加盟校教職員の抱える問題や課題、ニーズに合った実施形態やテーマを設定し実施した。

参加者満足度

	2016	2017	2018
満足(名)	25	17	49
不満(名)	1	0	0
満足(構成比)	96.2%	100.0%	100.0%
不満(構成比)	-3.8%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	92.3%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	31	22	63

他者推奨度

	2016	2017	2018
推奨(名)	28	15	42
非推奨(名)	2	0	0
推奨(構成比)	93.3%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	-6.7%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	86.7%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	31	22	63

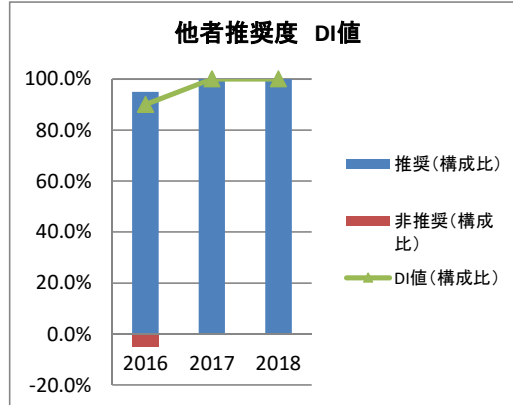
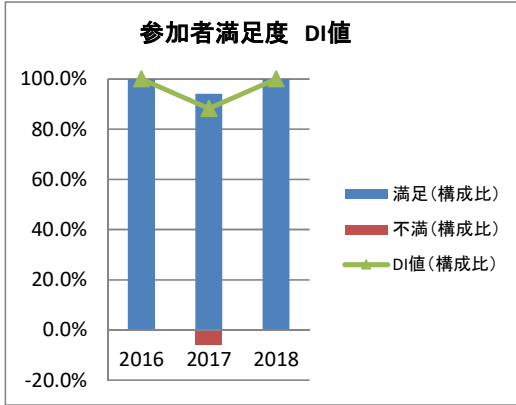
◆京都FD執行部塾 →大学執行部塾(2018年度名称変更)

<事業概要>

学長をはじめとする大学執行部を対象に実施しているFD勉強会です。

【2018年度の名称変更に伴う変更】

→各加盟校の学長等の大学執行部層を対象とする研修プログラムです。



参加者満足度

	2016	2017	2018
満足(名)	23	32	21
不満(名)	0	2	0
満足(構成比)	100.0%	94.1%	100.0%
不満(構成比)	0.0%	-5.9%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	88.2%	100.0%
参加者数(名)	39	54	38

他者推奨度

	2016	2017	2018
推奨(名)	19	36	17
非推奨(名)	1	0	0
推奨(構成比)	95.0%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	-5.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	90.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	39	54	38

<参加者の声>

- あらためて大学の目指すべき方向性を認識することができた
- 今直面している問題に関する内容であった
- 大局的視点で考えることができた
- 充実した講演内容であった
- 資料とスライドでよくわかる内容で本学にも参考になった
- 講演の内容が明確で、具体策が参考になった

<参加者の声を受けて改善を図った点>

- 2017(平成29)年4月1日、「大学設置基準等の一部を改正する省令」(平成28年文部科学省令第18号)の施行に伴うSD義務化を受けて、「京都FD執行部塾」から「大学執行部塾」に名称を変更した。
- 大学執行部層においてもFDだけでなく大学運営全般にわたる研修が求められたことを受けて、FDだけでなく広く大学運営全般に係るテーマを取り上げることにした。

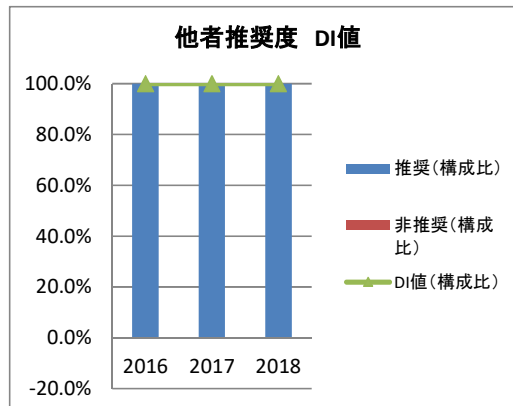
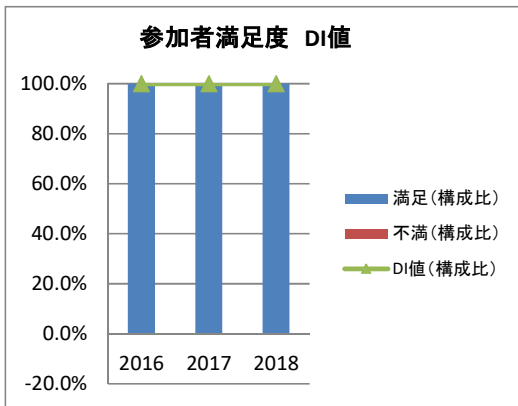
◆京都FDer塾 →京都FD交流会(2018年度名称変更)

<事業概要>

FD活動のリーダーとなる教職員を養成するため、各大学・短大のFD委員会メンバーやFD事務担当者である教職員を主な対象として、ワークショップやシンポジウムを行っています。授業方法の課題やスキルの強化をテーマとしています。

【2018年度の名称変更に伴う変更】

→加盟校教職員のFD活動における工夫や悩みを共有しながら課題の解決に向けたヒントを探るなど、FDに関する様々なテーマのもと、加盟校の枠を越えて教職員が交流する機会を提供しています。



<参加者の声>

- ワークショップがとても充実していた
- 大学を取り巻く状況からのIRの意味が理解できた
- 本学に取り入れることが出来そうなIRについて参考になった
- 今日の学びを学内に還元したい
- 他大学の事例が大いに参考になる

<参加者の声を受けて改善を図った点>

○FDの専門家(FDer)養成から、FD担当やFDに関心を寄せる教職員が他の教職員と、FD活動において工夫していることや悩んでいることを共有しながら、課題解決に向けたヒントを探るなど、FDに関する様々なテーマのもと、所属大学の枠を超えて気軽に交流できる情報交換の場を設けた。
○この京都FD交流会を通して、FD担当やFDに関心のある教職員間の新たなネットワークの構築を図ることとした。

参加者満足度

	2016	2017	2018
満足(名)	57	62	25
不満(名)	0	0	0
満足(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%
不満(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	99	88	32

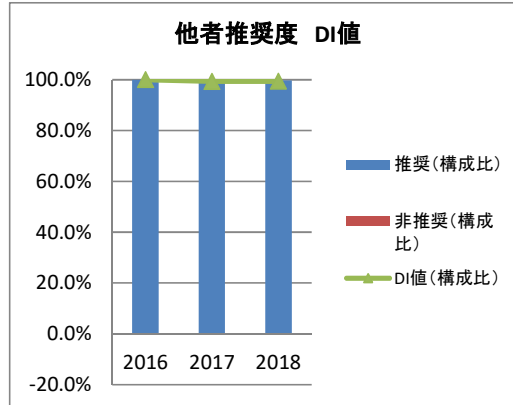
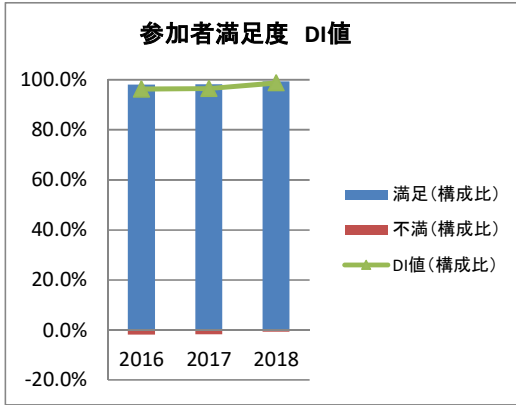
他者推奨度

	2016	2017	2018
推奨(名)	63	57	25
非推奨(名)	0	0	0
推奨(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	99	88	32

◆FDフォーラム

<事業概要>

FD分野で関心の高まっているテーマを取り上げ、基調講演および分科会における事例報告や意見交換を通じて、FDIに関する情報交流の場を提供することを目的として実施しています。



<参加者の声>

- タイムリーな話題について認識を深めることができた
- 全体的に高等教育が直面する課題を、考えることができた。
- 全国の先生と交流できた
- かかえている問題を解決するのに参考になる発表が多かった
- 今後の授業改善や大学改革を考えるうえでの具体的なヒントとなるような情報が多く得られた

<参加者の声を受けて改善を図った点>

- 技術革新によるAIやIoTなどの高度化、さらに進行するグローバル化を受けて、高等教育機関を取り巻く環境は、急速に変化しているを踏まえつつ、加盟校からのニーズや課題、関心の高まっているテーマを取り上げ実施した。

参加者満足度

	2016	2017	2018
満足(名)	368	280	316
不満(名)	7	5	2
満足(構成比)	98.1%	98.2%	99.4%
不満(構成比)	-1.9%	-1.8%	-0.6%
DI値(構成比)	96.3%	96.5%	98.7%
参加者数(名)	797	651	841

他者推奨度

	2016	2017	2018
推奨(名)	455	301	314
非推奨(名)	0	1	1
推奨(構成比)	100.0%	99.7%	99.7%
非推奨(構成比)	0.0%	-0.3%	-0.3%
DI値(構成比)	100.0%	99.3%	99.4%
参加者数(名)	797	651	841